

一般共同研究 I .

1. テーマ

歴史的・地理的条件に着目した越境地域政策の比較研究（環霧島地域・三遠南信地域）

2. 代表者・共同研究者・協力者（および組織）

研究代表者 上野 莉紗
（京都大学大学院 人間・環境学研究所 博士後期課程）

3. 期間

2015年6月から2016年3月まで

4. 目的

本研究では、県境地域において生じてきた課題、およびそれを解決するにあたって問題となることを明らかにする。また、実際に越境政策に取り組んでいる地域がもつ歴史的・地理的条件について検討する。

5. 実績概要

環霧島地域の県境に関する新聞記事の整理と構成自治体での聞き取り調査を通じて、構成自治体間の関係性と環霧島地域全体としての連携の実態について把握した。従来から関係性をもつ自治体が域内に複数あり、これらの間では当たり前県境を越えて連携がなされてきている。一方、従来は環霧島地域としてのまとまりはなく、これは環霧島会議の設置によってはじめて成立したものであるということが明らかになった。

6. 今後の展開

地理的・歴史的関係性に基づきなされてきた連携と、新たなまとまりを設ける連携とを今後は分けて考え、それぞれがどのように展開されてきたかを明らかにする必要がある。前者については、自治体間連携の取り組み状況の地図化を行い、その歴史的・地理的条件を検討する。後者については、連携が展開してきた背景を明らかにするとともに、その連携のあり方を先進的な三遠南信地域や類似の他の越境地域政策をもつ地域と比較しながら検討する。

7. 研究内容

(1) 県境地域における政策の特性を明らかにする

- ① 県境をめぐってどのような問題が生じてきたのか概観するため、宮崎日日新聞と南日本新聞を利用し、環霧島地域における県境に関する記事を収集・整理した。また、比較のため、中日新聞と静岡新聞、信濃毎日新聞を利用し、三遠南信地域における県境に関する記事についても収集・整理した。
- ② 総務省自治行政局市町村課「地方公共団体間の事務の共同処理の状況調」（2014年）に基づき、地方自治法上に位置付けられた自治体間連携の取り組み内容を整理し、都道府県内完結型と越境型の間で異なった傾向がみられるのかどうか比較検討した。また、国土交通省国土政策研究所「県境地域を対象とした広域的な地域づくりに関する研究」（2010年）を利用し、越境連携が省庁所管の制度を利用してなされていることを確認した。
- ③ 環霧島地域における連携について聞き取り調査を行い、環霧島会議と霧島ジオパーク推進協議会の設立の経緯・活動の内容等を把握した。また、比較のため、三遠南信地域連携ビジョン推進会議の設立の経緯・活動の内容等についても聞き取りを行った。
- ④ 霧島地域の構成自治体である鹿児島県霧島市・曾於市・湧水町、宮崎県都城市・小林市・えびの市・高原町において聞き取り調査を行い、環霧島地域全体としての連携の実態について把握した。

(2) 府県境に接している自治体のうち、越境地域政策を有する地域の歴史的・地理的特性を検討する。

- ① 環霧島地域の構成自治体である鹿児島県霧島市・曾於市・湧水町、宮崎県都城市・小林市・えびの市・高原町において聞き取り調査を行い、構成自治体のそれぞれが行っている他の自治体との連携を把握した。
- ② 環霧島地域周辺の自治体連携について、地図化を行った。

8. その他実績

三遠南信地域連携研究センター、越境地域政策研究フォーラム、「歴史的・地理的条件に着目した越境地

域政策の比較研究」、上野莉紗、2016年2月27日
県境地域において生じてきた課題について検討した。
また、越境政策に取り組んでいる地域の実態について
検討した。

一般共同研究Ⅱ

1. テーマ

市町村行政評価 BM を活用した越境地域のガバナンス
研究－上信越国境地域および三遠南信地域を核に－
(上信越国境地域および三遠南信地域／比較対象地域
は全国)

2. 代表者・共同研究者・協力者（および組織）

研究代表者 熊倉 浩靖
(群馬県立女子大学群馬学センター副センター長・教授)

共同研究者 飯島 弘幸
(特定非営利活動法人 NPO ぐんま主任研究員)

長谷川 香織
(特定非営利活動法人 NPO ぐんま主任研究員)

協力者 関本 隆一・中村 剛・蜂須賀 徹・増田 和也・
中嶋 一雄・田村 克宏・萩原 圭・須藤 陽
一・須田 茂之・館野 裕紀・齋木 俊郎・寺
沢 隆宏

3. 期間

2015年6月から2016年3月まで

4. 目的

研究代表者等が開発し定着しつつある市町村行政評
価ベンチマーク（以下 BM）を活用して、2014年度
地域間交流研究で浮き彫りとなった①人口減少・子育
て対策②公共施設マネジメント③移住・定住促進の3
課題を、越境地域という地域性を利用して具体的に改
善・解決していく手法を開発する。

5. 実績概要

3課題が地方創生・総合戦略と密接に関わっている
ため BM 評価を総合戦略と合わせて3回にわたり上信
越越境地域研究会を開催（12月21日、2月4日、3
月24日）。その結果、研究対象とした3項目は3類
型8施策に整理された。A 類型・地域内の先進事例を
普及・共有する形での課題解決型（須崎市保健補導員
制度、中之条町中之条電力）、B 類型・共同事業とし
ての検討・具体化型（地域資産解説人材共同育成プロ